

内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
中村 元行	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	教授	博士(医学)	循環器内科学 腎臓内科学	①中村元行, 田中文隆, 松本立也, 酒井敏彰, 小川宗義, 肥田頼彦. Sustained Increase in the Incidence of Acute Decompensated Heart Failure after the 2011 Japan Earthquake and Tsunami: A Population-based Study. 第80回日本循環器学会. 2016年3月. 仙台市. ②Nakamura M, Tanaka F, Honma M, Komi R. Sustained Increase in the Incidence of Acute Cardiovascular Events After the 2011 Northeast Japan Tsunami: A Population Based Study. America Heart Association. 2015Nov. Chicago. ③科学研究費助成事業 「大津波災害が急性循環器疾患の発症に与える長期的影響とその対策に関する研究」2014年～2017年
小松 隆	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	准教授	博士(医学)	循環器内科学	①Komatsu T, Sato Y, Ozawa M, Kunugita F, Yoshizawa R, Morino Y, Nakamura M. Comparison between CHADS2 and CHA2DS2-VASc score for risk stratification of ischemic stroke in Japanese patients with non-valvular paroxysmal atrial fibrillation not receiving anticoagulant therapy. Int Heart J. 55(2):119-25. 2014. ②小松隆. 第78回日本循環器学会学術集会コントロールシー-II; The first-line therapy for paroxysmal atrial fibrillation 「The Long-term Efficacy and Cardiovascular Prognosis of Antiarrhythmic Drug Therapy in Patients with Paroxysmal Atrial Fibrillation.」2014年3月. 東京. ③Komatsu T, Sato Y, Ozawa M, Kunugida F, Ueda H, Tachibana H, Morino Y, Nakamura M. Relationship between CHADS2 score and efficacy of antiarrhythmic drug therapy in patients with paroxysmal atrial fibrillation. Circ J. 77(3):639-645. (2013)
田代 敦	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	特任准教授	博士(医学)	循環器内科学	①田代敦, 熊谷亜希子, 中村元行, 芳沢美知子, 阪本亮平, 臼井雄太, 中島祥文, 石川有, 房崎哲也, 森野禎浩, 鎌田武, 岡林均. 経カテーテル的大動脈弁留置術における経食道心エコーでの人工弁周囲逆流の簡易的半定量評価. 第160回日本循環器学会東北地方会. 2015年6月. 盛岡市. ②田代敦, 熊谷亜希子, 芳沢美知子, 中島祥文, 阪本亮平, 房崎哲也, 森野禎浩, 中村元行, 坪井潤一, 鎌田武, 向井田昌之, 岡林均. Short-term Left Ventricular Morphology after Surgery to Aortic Valve Stenosis: Comparison between Aortic Valve Replacement and Transcatheter Aortic Valve Implantation. 第79回日本循環器学会. 2015年4月. 大阪府. ③田代敦, 熊谷亜希子, 森野禎浩, 中村元行, 坪井潤一, 鎌田武, 岡林均. 高度大動脈弁狭窄における生体弁置換術後の左室心筋重量減少: 弁サイズか大動脈弁逆流の有無か?. 第62回日本心臓病学会2014年9月. 仙台市.
田中 文隆	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	講師	博士(医学)	循環器内科学 腎臓内科学	①Tanaka F, Komi R, Makita S, Onoda T, Tanno K, Ohsawa M, Itai Sakata Omama Yoshida Ogasawara Ishibashi Kuribayashi Okayama Nakamura Iwate-Kenco Study Group. Low-grade albuminuria and incidence of cardiovascular disease and all-cause mortality in nondiabetic and normotensive individuals. J Hypertens. 34(3):506-12. 2016. ②Tanaka F, Makita S, Ito T, Onoda T, Sakata K, Nakamura M. Relationship between the seismic scale of the 2011 northeast Japan earthquake and the incidence of acute myocardial infarction: A population-based study. Am Heart J. 169(6):861-9. 2015. ③科学研究費助成事業 「健常住民における心血管疾患発症・死亡予測指標としての心電図の意義に関する研究」2014年～2016年
安孫子 明彦	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	講師	博士(医学)	循環器内科学	①安孫子明彦, 蒔田真司, 長井瑞祥, 中村元行: Stanford B型大動脈解離の慢性期予後への影響因子の検討. 第52回日本脈管学会総会. 2011年10月. 岐阜市. ②安孫子明彦, 蒔田真司, 長沼雄二郎, 菅原正磨. 当院でのStanford B型大動脈解離の治療成績および慢性期大動脈予後の現状. 第50回日本脈管学会; 10月:東京都.

内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
瀬川 利恵	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	特任講師	博士(医学)	循環器内科学 内分泌学	①瀬川利恵, 田中文隆, 小野田敏行, 丹野高三, 大澤正樹, 小笠原邦昭, 坂田清美, 岡山明, 中村元行. Uric Acid is an Independent Risk Factor for the Onset of Cardiovascular Disease in Japanese Women第79回日本循環器学会, 2015年4月, 大阪府. ②瀬川利恵, 渡邊收司, 田中文隆, 中村元行: 両側副腎腫瘍を呈したサブクリニカルクッシング症候群の1例. 第202回日本内科学会東北地方会, 2014年6月, 仙台市. ③瀬川利恵, 小野田敏行, 田中文隆, 板井一好, 大澤正樹, 丹野高三, 坂田清美, 川村和子, 吉田雄樹, 小笠原邦昭, 岡山明, 中村元行: Framingham Risk Score, CRP, Urinary Albumin, and BNP: Which is the Best Predictor for Congestive Heart Failure in the General Population?. 第78回日本循環器学会, 2014年3月, 東京都.
佐藤 権裕	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	助教	博士(医学)	循環器内科学	①佐藤権裕, 田中文隆, 瀬川利恵, 中村元行, 小野田敏行, 大澤正樹, 丹野高三, 坂田清美, 岡山明. 地域一般住民を対象にした心筋梗塞と脳卒中発症の危機因子の影響の違いについての検討. 第63回日本心臓病学会, 2015年9月, 横浜市. ②Sato K, Segawa T, Takahashi T, Tanno K, Ohsawa M, Onoda T, Sakata K, Omama S, Ogasawara K, Ishibashi Y, Makita S, Okayama A, Nakamura M. Cardiovascular risk stratification with plasma B-type natriuretic peptide levels in a community-based hypertensive cohort. Am J Cardiol. 113(4):682-686. (2014) ③佐藤権裕, 田中文隆, 瀬川利恵, 高橋智弘, 小野田敏行, 大澤正樹, 丹野高三, 坂田清美, 梶田房紀, 小松隆, 岡山明, 中村元行: HDL is a Significant Risk Marker to Predict Cardiovascular Events in Atrial Fibrillation with Low CHADS2 Score; A Community-based Study. 第78回日本循環器学会, 2014年3月, 東京都.
小澤 真人	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	助教	学士	循環器内科学	①小澤真人, 芳沢礼祐, 高橋完, 松本裕樹, 梶田房紀, 小松隆, 森野禎浩, 中村元行. Medtronic社製 Sprint Fidelis lead断線に対して、RV pacing leadのみ追加した2例. 第8回植込みデバイス関連冬季大会, 2016年2月, 北九州市. ②小澤真人, 小松隆, 梶田房紀, 佐藤嘉洋, 芳沢礼祐, 森野禎浩, 中村元行. Comparison among CHADS2, CHA2DS2-VASc and R2CHADS2 Score in Patients with Non-valvular Paroxysmal Atrial Fibrillation without Receiving Anticoagulation Therapy. 第79回日本循環器学会, 2015年4月, 大阪府. ③小澤真人, 小松隆, 梶田房紀, 佐藤嘉洋, 芳沢礼祐, 坂本翼, 森野禎浩, 中村元行. Clinical Characteristics of Vascular Endothelial Dysfunction in Patients with Non-Valvular Atrial Fibrillation. 第79回日本循環器学会, 2015年4月, 大阪府.
梶田 房紀	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	助教	学士	循環器内科学	①梶田房紀, 那須崇人, 佐々木加弥, 坂本翼, 小松隆, 川上幹夫, 小澤真人, 中村元行, 田口裕哉, 芳沢礼祐, 森野禎浩. Electrical stormを来したBrugada症候群の1例. 第162回日本循環器学会東北地方会, 2016年6月, 盛岡市 ②梶田房紀, 小松隆, 小澤真人, 芳沢礼祐, 松本裕樹, 佐藤嘉洋, 森野禎浩, 中村元行. Relationship between the Outcome of Successful Catheter Ablation and Vascular Endothelial Function in Patients with Non-valvular Atrial Fibrillation. 第80回日本循環器学会, 2016年3月, 仙台市. ③梶田房紀, 坂本翼, 松本裕樹, 佐々木加弥, 伊藤誉人, 川上幹夫, 大野忠広, 高レニン活性/高アルドステロン性高血圧を合併した馬蹄腎の症例. 第205回日本内科学会東北地方会, 2015年6月, 仙台市.

内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
熊谷 亜希子	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	助教	博士(医学)	循環器内科学	①熊谷亜希子, 田代敦, 芳沢美知子, 鎌田武, 坪井純一, 向井田昌之, 森野禎浩, 岡林均, 中村元行. Outcome of Aortic Valve Repair with Annuloplasty Evaluated Echocardiographic Finding. 第80回日本循環器学会. 2016年3月. 仙台市. ②熊谷亜希子, 田代敦, 芳沢美知子, 鎌田武, 坪井潤一, 向井田昌之, 森野禎浩, 岡林均, 中村元行. What Echocardiographic Parameters are Useful Predictors for Postoperative Residual Aortic Regurgitation in Patients undergoing Aortic Valve Repair with Annuloplasty?. 第79回日本循環器学会. 2015年4月. 大阪府. ③熊谷亜希子, 田代敦, 芳沢美知子, 高橋康子, 嘉村幸恵, 工藤幸子, 平賀悠里江, 高橋敬太, 熊谷和也, 岡林均, 森野禎浩, 中村元行. 特発性大動脈弁穿孔の二症例. 第26回日本心エコー学会学術集会. 2015年3月. 福岡市.
後藤 巖	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	助教	博士(医学)	循環器内科学	①後藤巖, 伊藤智範, 木村琢巳, 房崎哲也, 松井宏樹, 菅原正磨, 小室堅太郎, 中村元行. 光干渉断層法(OCT)による冠動脈ステント留置部の新生内膜の形態および性状の評価. 第151回日本循環器学会東北地方会. 2010年12月. 仙台市. ②後藤巖, 伊藤智範, 房崎哲也, 松井宏樹, 原正磨, 三船俊英, 木村琢巳, 長沼雄二郎, 小室堅太郎, 中村元行. 光干渉断層法による冠動脈ステント留置後の新生内膜の定量的性状評価の検討 シロリムス溶出性ステントと従来型ステントとの比較. 第58回日本心臓病学会. 2010年9月. 東京都. ③後藤巖, 安孫子明彦, 蒔田真司, 中村元行, 湊谷謙司, 片岡剛, 鎌田武, 岡林均, 田中良一, 吉岡邦浩. 破裂性腹部大動脈瘤術後の小腸瘻孔形成を伴うグRAFT感染の1例. 第150回日本循環器学会東北地方会. 2010年6月. 盛岡市.
菅原 正磨	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	助教	博士(医学)	循環器内科学	①菅原正磨, 伊藤智範, 房崎哲也, 松井宏樹, 荻野義信, 折居誠, 中村元行. 左主幹部のISRへのPCI時に冠動脈穿孔を生じ、Graft Master を留置した一例. 第26回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会. 2009年7月. 山形市.
渡邊 収司	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野	助教	学士	腎臓内科学	①渡邊収司, 赤坂裕一郎, 田中文隆, 瀬川利恵, 中村元行. ステロイドパルスが著効した糖尿病合併ネフローゼ症候群の1例. 第208回日本内科学会東北地方会. 2016年7月. 仙台市. ②渡邊収司, 田中文隆, 瀬川利恵, 中村元行. ネフローゼ症候群に肺血栓寒栓症を合併した1例. 第203回日本内科学会東北地方会. 2014年9月秋田市. ③渡邊収司, 田中文隆, 瀬川利恵, 中村元行. 溶血性尿毒性症候群を呈した1例. 第201回日本内科学会東北地方会. 2014年2月. 仙台市.